



このよを おそれては なりません

Ⅱテサロニケ 2章 12～13節

それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。しかし、あなたがたのことについては、私たちはいつでも神に感謝しなければなりません。主に愛されている兄弟たち。神は、御霊による聖めと、真理による信仰によって、あなたがたを、初めから救いにお選びになったからです。

学校や塾で、私より力の強い同じ年の友だちに会ったことはありますか。そのような友だちの前で、わけもなく縮こまって、おじけづいたことはないでしょうか。そのような友だちは、強く見える一方で、むしろ苦しみを経験しています。心が傷ついていて、幸せでないから、力で表現しているのです。

神様は、そのような友だちと世の人をご存知で、神の子どもに「絶対にだまされてはならない」と言われました。神の子どもの背景は、目に見えない、もっと大きくて強い天国だからです。神の国の祝福を先に受けたからです。

天国の背景の奥義を知っていたパウロは、テサロニケ教会の難しい状況を知らずにはなりませんでした。それゆえ「絶対に世の中にだまされしないで。福音でないむだな話に耳を傾けずに、神の子どもの祝福だけ信じて味わいなさい！」と手紙を書きました。私は神の子どもであり、伝道者の生活を送るレムナントです。パウロのように、目に見えること、耳に聞こえることにだまされしないで、契約のみことばについて行きましょう。そうすれば、世の中を恐れるのではなく、世の中を生かすようになるでしょう。

きょうのみことば



神様、ありがとうございます。この世を恐れなくて、契約に従っていくレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



パウロを通してテサロニケ教会に与えられた神様のみことばを完成しましょう。私たちも、いっしょに守るべき神様のみことばを覚えて、完成したみことばを深く黙想しましょう。



さて兄弟たちよ。私たちの主（ ）が再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いすることがあります。（ ）によってでも、あるいは（ ）によってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも、主の目がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、（ ）を騒がせたりしないでください。だれにも、どのようにも、（ ）ようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現われなければ、主の日は来ないからです。彼は、すべて神と呼ばれるもの、また（ ）されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。私がまだあなたがたのところにいるとき、これらのことをよく話しておいたのを思い出しませんか。

(Ⅱテサロニケ2：1～5のみことば)



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Grid area for writing the church name and preparation materials.



きょうかいの しゅくふくが わたしに きました!

かようび

使徒
16章 4~5節

さて、彼らは町々を巡回して、エルサレムの使徒たちと長老たちが決めた規定を守らせようと、人々にそれを伝えた。こうして諸教会は、その信仰を強められ、自ごとに人数を増して行った。

教会は救われた神の子どもを表す、また別の呼び名です。神の子どもが集まって礼拝する場所も、やはり教会と呼びます。または、教会堂だと言います。教会の模型の始まりは幕屋であり、その後、神殿になりました。今でも、教会を神殿と言うことがあります。教会は、神の子どもだけのための所ではありません。どんな人でも自由にきて福音を聞けるように、神様が区別してたてられた場所です。

神様は、教会に多くの祝福を置いておられます。その中で最も代表的な祝福があります。世の中のわざわいに勝って防ぐ霊的な力を供給してもらうということです。その力によって私たちは世の中を生きやす権威を受けました。神の子どもは、だれでも、この権威を使って福音を伝えることに努めなければなりません。神様が最も希望されることだからです。

全世界の237個の国には、まだ福音を聞くことのできていない国が多いと言われていいます。それゆえ、神様はあちこちに福音が伝えられるようにレムナントを育てて助ける教会をたてられるのです。この教会を通してすることを、私の祈りの課題としましょう。まことの教会の役割と祝福を与えてくださるでしょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the Bible verse.



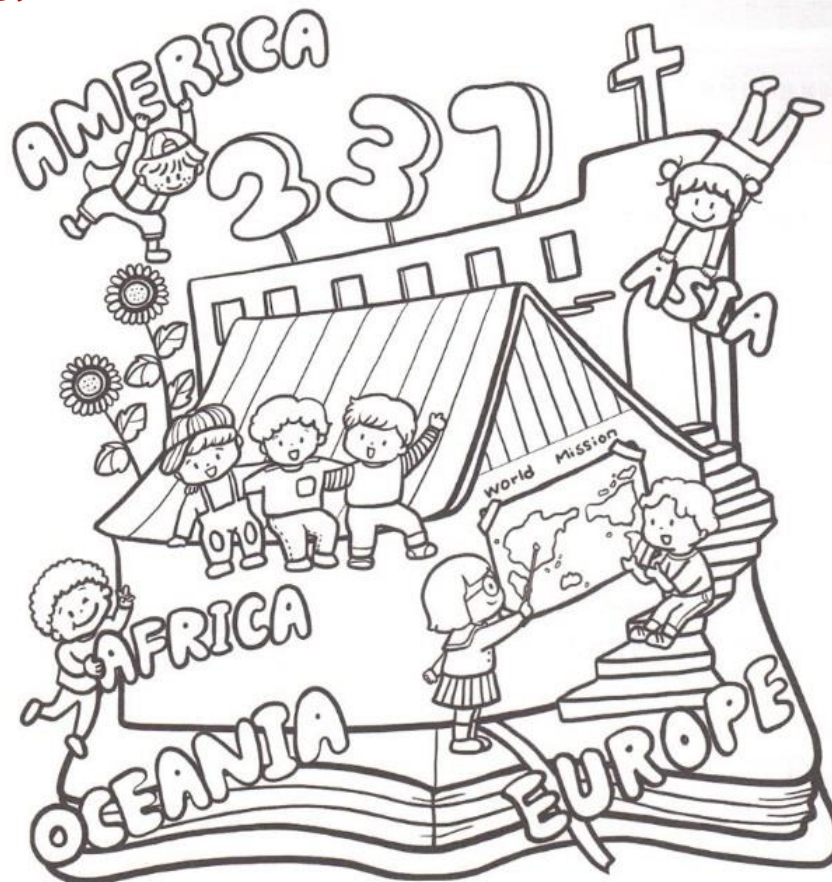
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私がいまの教会の役割を知って、実践することができるようになります。私たちの教会が、福音を伝える代表的な教会になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろを
ぬろう

教会である私と、神殿の役割をする教会がどんなことをすべきなのかを祈りながら色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Blank grid area for coloring and writing names.



レムナントが もつ ふくいんの モデル

1 テサロニケ 1章5節

なぜなら、私たちが福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによつたのではなく、力と聖霊と強い確信とによつたからです。また、私たちがあなたがたのところへ、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。

神様は、聖書の中に福音のモデルを隠しておかれました。彼らが持っていた福音の内容があります。神様は、レムナントがこれらの内容について発見することを願っておられます。それは、なんでしょうか。

最初に、福音の味です。深い祈りをするとき、神様が私とともにおられることを知って体験するようになります。そのときに福音の味を感じることができます。(使徒1:14) 二つ目、福音の色です。アンテオケ教会のように、ただイエスだけがキリスト、唯一の救い主であるという福音の色を持たなければなりません。(使徒1:1-8) このとき、信仰の働きを体験でき、愛の労苦ができます。また、未来が分かるから忍耐ができます。三つ目、福音にはかたち(生活)があります。福音の中に入れば、傷は土台になり、試みは祝福になります。葛藤は、私を新しくする時刻表で、危機は機会になります。神様が願われる福音の味、色、かたちを持つなら、聖書の中にある福音のモデルのようになるでしょう。

今日から、福音の内容を持った福音のモデルになることを祈りましょう。全世界の人が私を見て、神様が生きておられることを知るようになるでしょう。また、神様がそのことを喜ばれるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ただイエスだけがキリストだというまことの福音の味を知って、福音の色、かたちを持つことができますように。そして、福音のモデルになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



05. みことばにすなおなレムナント

作詞/作曲: イム・イエジン

♩=100 ca.

C Dm G C



かーみ さまに はいはい はい パパと ママに はいはい はい



ぼくし せんせい はいはい はい せんせい たちに はいはい はい



きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank grid area for writing names of people met during the week.

じゅんび する 資料
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

レムナントが あじわう れいはい



しかし、^{しん、れいはい}真の礼拝者たちが^{れい}霊とまことによって^{ちち、れいはい}父を礼拝する時^{とき}が来ます。今^{いま}がその時^{とき}です。^{ちち}父はこのよう^{ひと}な人々^{れいはい}を礼拝者として^{もと}求めておられるからです。^{かみ}神は^{れい}霊ですから、^{かみ、れいはい}神を礼拝する者は、^{れい}霊とまことによって^{れいはい}礼拝しなければなりません。

ヨハネ
14章 23~24節

9 F Em A/C# Dm F/G C

す なお な ころ ころ よ ろ こ び いっ ばい

13 F Em Am F D7 G

か み さ ま の し ゅ く ふ く - あ ぶ れ る よ

D.C. al Fine



サタンが^{さいしょ}最初の人^{ひと}アダム^{とお}を通して、^{ひと}まず人から^{うぼ}奪ったことがあります。^{けいやく}契約^{かみ}の^ながして、^{かみさま}神様^{ほな}から^い離れるように^{いま}させました。今^{いま}でもサタンは^{かみ}神の子^こどもが^{かみさま}神様に^あ会う^{れいはい}礼拝^{しつぱい}を失敗^{しゆだん}させるために、^{ほうほう}手段^{えら}と方法^{えら}を選^{えら}びません。また、^{かみさま}神様の^{こたえ}答えを^き聞けないように、^め目に見える^{かみさま}もので^あだまします。神様に^{かみさま}会うことが^{ひと}できない人々^{ひと}は、^{かみ}またほか^{ほか}の^{かみ}わざわいに^{れいはい}あいます。神様^{かみ}でない^{ほか}他の^{かみ}神々^{れいはい}を礼拝^{れいはい}をして、^{かみ}サタンの^{どれい}奴隷^いとして^{あつ}生きるようになります。

^{かみ}神様が^{かみ}これら^{そんじ}すべてを^あご存知^あで、^とイエス・キリスト^あを通して^あ神様に^あ会う^あ道^あ（ヨハネ 14:6）^あを^あくださいました。イエス・キリスト^あという^あその^あ御名^あを^あ信^あじる^あ者が^あ滅^あびない^あために^あです。それ^あだけでなく、^あ神様に^あ会う^あ礼拝^あの^あ祝^あ福^あも^あ回復^あして^あくださいました。いまは、^あひとり^あでいる^あ時間^あに、^あ聖日^あ礼拝^あで^あくださった^あみこと^あばを^あずっと^あ思い^あながら^あ祈^ある^あ黙想^あを^あ回復^あしましょう。再^あび^あ神様^あを^あ離^あれて、^あサタンの^あ奴隷^あになら^あない^あために^あです。また、^あマルコ^あの^あ屋^あ上^あの^あ間^あの^あ弟子^あたち^あの^あよう^あに、^あと^あも^あに^あ集^あま^あって^あ礼^あ拝^あする^あ祝^あ福^あを^あ味^あわ^あな^あければ^あなり^あませ^あん。この^あよう^あに^あ礼^あ拝^あを^あ回^あ復^あす^あれば、^あ使^あ徒^あの^あ働^あき^あと^あローマ^あ16章^あの^あ弟子^あたち^あの^あよう^あに、^あど^あこ^あへ^あ行^あっ^あても、^あ神^あ様^あの^あ答^あえ^あを^あ受^あけ^あて、^あわ^あか^ある^あよう^あに^あなる^あで^あし^あょう。

きょうのみことば

きょうのでんどう

あ ひと
会 人

じゆんび しりょう
準 備 する 資 料

きょうのいのり

^{かみ}神様、^あありがとう^あございます。^{れいはい}礼拝^あを^あ回^あ復^あして、^{れいはい}礼拝^あに^あ集^あ中^あする^あ集^あ中^あ力^あを^あください。^あ初^あ代^あ教^あ会^あの^あ弟^あ子^あたち^あの^あよう^あに、^あい^あつ^あも^あ神^あ様^あと^あと^あも^あに^あい^ある^あこ^あと^あが^あでき^あます^あよう^あに、^あ生^あき^あて^あお^あら^あれる^あイ^あエ^あス^あ・^あキ^あリ^あス^あト^あの^あお^あ名^あ前^あに^あよ^あつ^あて^あお^あ祈^あり^あし^あま^あす。^あア^あー^あメ^あン



07 レムナントの せいかつ

ピリピ
4章6節

なに おもい 煩わ ないで、あ らゆる ばあ い、か んしや 感謝 をもって ささ げる いの 祈り と 願 いに よって、あ なた が たの 願 い 事 を 神 に 知 っ て い た だ き な さ い。

レムナントが必ず知って、自分のことにしなければならない3つのことがあります。それは、イエスがキリストという福音と礼拝、そして祈りです。イエ様が十字架で死なれ、三日目に復活された後、昇天されるときに言われた約束があります「わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイ 28:20) というみことばです。いったいイエス様は、いつもどのように私たちとともにおられるのでしょうか。

福音を知って礼拝を回復したレムナントの祈りに答えながら、ともにおられます。反対に、サタンは、福音がない祈りをするようにさせます。ですから、より大きな霊的問題によって苦しむようになります。それゆえ、私たちはすべての生活の優先順位をイエス・キリストの福音と神の国、世界福音化というイエス様の約束に合わせなければなりません。この契約を握って祈るとき、神様は24時間、休むことなく答えをくださいます。(1テサロニケ 5:17) 神様の永遠な答えを体験するようになるでしょう。レムナントが福音と礼拝、そして、祈りを回復するとき、神様はだれも知らない、ついてくることもできない私だけの答えをくださるでしょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私のすべての優先順位が、福音と礼拝、祈りになりますように。神様がいま、私とともにおられることをすべての人が知りますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ワーク

レムナントである私に神様がくださる契約はなにかな。毎日、契約の祈りをのがさないように見ることができる作品を作りましょう。

契約の祈りがくぶちを作ろう

準備するもの：
プラスチックのおさら
おりがみ、のり、
木工用ボンド

- ①プラスチックのおさらのまんなかにごうようにおりがみをきります
- ②おりがみに、私の心にある契約のみことばと祈りの課題を書きます(私の決断でもよいです)
- ③のりで紙をはります
- ④おりがみをはったまわりのあいているところを自由にかざります

きょうのでんどう

あひと 会う人

Blank space for writing the daily devotion.

準備する資料

Blank space for preparing materials.



08

どうび

よのなかをみるめ

ピリピ 2章 11～13節

すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はおさら、恐れおののいて自分の救いの達成に努めなさい。神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて「志」を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。

神の子どもは、世の中の表の姿だけでなく、かくされた深いことを見なければなりません。強い国々の偽りの成功や、目に見えない偶像文化のことです。サタンは今でもいろいろな落とし穴と枠、わなで、世の中に多くの問題を与えています。

ですから、神の子どもは、今まで見たことと聞いたこと、また習ったことを下ろして、ただ神様のみことばの中に入らなければなりません。すべての人に来ている苦しみと問題、すべての国に近づいているのろいとわざわいは、他のものでは絶対に解決できません。ただキリストだけが唯一の答えです。ですから、私たちは、キリストだけで十分だという結論を出さなければなりません。そして、毎週、教会で受ける講壇のみことばと毎日黙想する〈子どもの祈りの手帳〉で神様がくださるみことばについて行けば良いのです。ある日、神様が世の中を見る目を開いてくださるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily scripture.



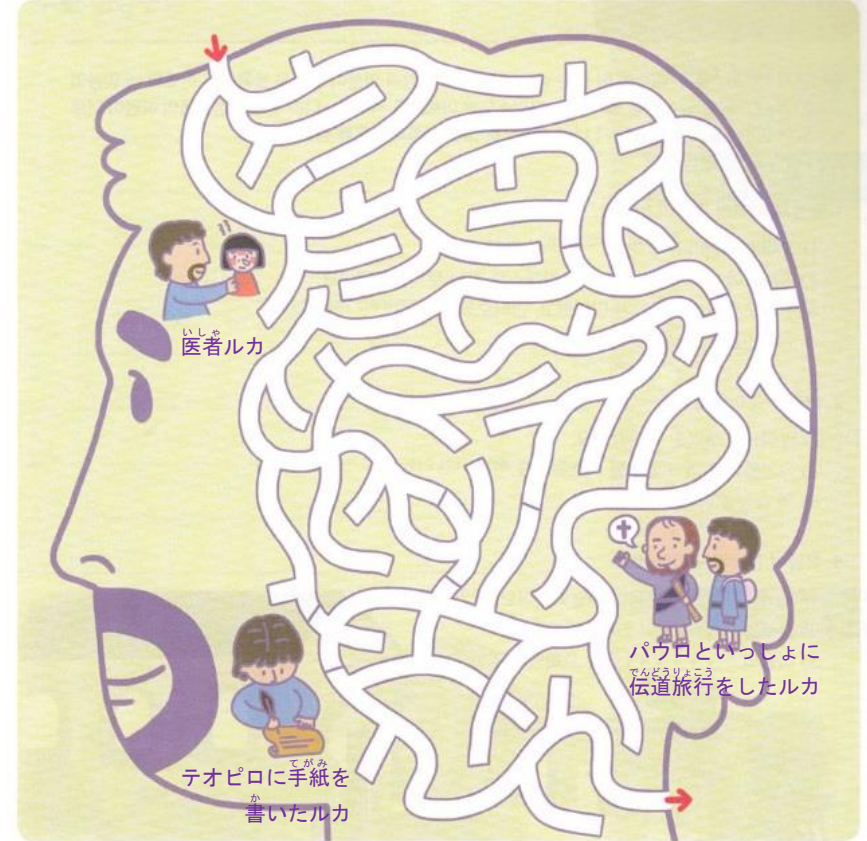
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。この世を正確に見て、キリストで答えを与えるこの時代のリーダーとして、成長するように、霊的な目を開いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



めいろ

神の子どもが霊的な目を開いて、この世を見ることはとても重要です。使徒の働きを記録したルカが、霊的な目を開いて見たように、現場をじっくりと見る迷路を通りましょう



きょうのでんどう

Blank grid area for writing the daily devotion.

あひと 会う人

じゆんばい 準備する資料

Blank lines for writing the preparation materials.